Yonago Acta Medica 査読規定

1. 査読の目的

投稿された論文を公正かつ客観的に評価し、Yonago Acta Medica に掲載されるにふさわしいものであるか否かを判定するとともに、改善方法を建設的に提案することにより、論文の質の向上を助長することを目的とする。

2. 査読の対象

Original Article, Patient Report, Short Communication, Review Article のカテゴリーのすべての投稿論文を対象に行う。

3. 査読者の選定

1）一般論文の場合

編集委員会が、投稿論文の内容にふさわしい分野の査読者を、鳥取大学所属の研究者の中から 2 名選定する。共著者は対象外とする。また、査読者は匿名とする。

2）学位申請予定論文の場合

投稿者が査読者を 2 名指名することができる。共著者および、同一所属の研究者を指名することはできない。ただし、必ずしも指名者が査読者に決定するとは限らない。投稿者が査読者の指名を希望しない場合は、編集委員会にて選定を行う。

4. 査読の期間

1 回目は 14 日以内、2 回目以降は 7 日以内とする。

5. 査読作業の手順

1） 査読者の決定

2） 査読依頼

3） 査読結果の報告

査読者は、査読者評価シート*に基づき査読を行い、判定結果と著者へのコメントを明記し、期限内に編集委員会へ提出する。

4） 掲載可否の決定・通知

6. 査読結果が「修正して可」もしくは「大幅修正して可」と判定された場合の取り扱い

投稿者は、査読者の指摘に従って原稿を修正し、修正済みの原稿を再提出する。編集委員会において提出された修正済み原稿をチェックし、十分な修正がなされていることが確認された場合には採択とする。再査読が必要と判断された場合は、再査読を行い、再度投稿者に修正を求める。再査読は、原則として一回目の査読と同一の査読者が行う。

7. 査読に関する倫理規定

査読者は、原稿およびそこに記載されている情報は極秘扱いとしなければならない。また、投稿論文が掲載される前に投稿者の当該研究について公に議論したり、投稿者のアイデアを盗用したりすることがあってはならない。

（*添付文書）

査読者評価シート

論文番号：YAM_
査読者氏名：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

1. チェック項目（該当するものを■にする）

・新規性：　□優　　□良　　□可　　□不可
・普遍性：　□優　　□良　　□可　　□不可
・英語：　□優　　□良　　□可　　□不可
・タイトル：　□適当　　□不適当
・ランニングタイトル：　□適当　　□不適当
・図表（単位、legend 等を含めて）：　□適当　　□不適当
・対象数：　□適当　　□不適当
・倫理規定遵守（承認番号の有無）：　□可　　□不可
　※ Patient Report は原則記載不要
・統計処理（症例報告等の場合は不要）：　□適当　　□不適当　　□該当せず

2. 総合判定（該当するものを■にする）

□　可
□　修正して可
□　大幅修正して可（追加実験等を含む）
□　不可

3. コメント（以下に記載）